



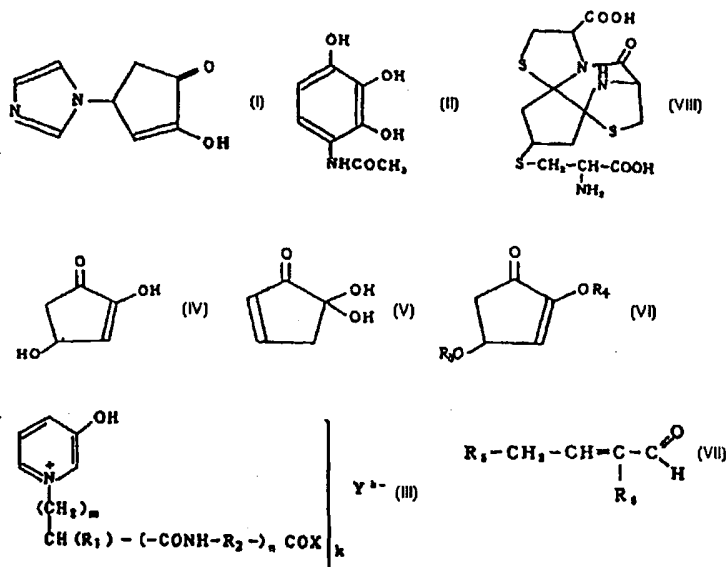
<p>(51) 国際特許分類 C07C 49/707, 49/753, 229/08, 233/25, C07D 213/65, 233/60, 513/18, A61K 31/12, 31/165, 31/415, 31/44, 31/495</p>	<p>A1</p>	<p>(11) 国際公開番号 WO99/29647</p> <p>(43) 国際公開日 1999年6月17日(17.06.99)</p>														
<p>(21) 国際出願番号 PCT/JP98/05554</p> <p>(22) 国際出願日 1998年12月8日(08.12.98)</p> <p>(30) 優先権データ</p> <table border="0"> <tr> <td>特願平9/361644</td> <td>1997年12月11日(11.12.97)</td> <td>JP</td> </tr> <tr> <td>特願平9/364356</td> <td>1997年12月19日(19.12.97)</td> <td>JP</td> </tr> <tr> <td>特願平9/364813</td> <td>1997年12月22日(22.12.97)</td> <td>JP</td> </tr> <tr> <td>特願平10/17660</td> <td>1998年1月14日(14.01.98)</td> <td>JP</td> </tr> <tr> <td>特願平10/73018</td> <td>1998年3月9日(09.03.98)</td> <td>JP</td> </tr> </table> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 寶酒造株式会社(TAKARA SHUZO CO., LTD.)(JP/JP) 〒612-8061 京都府京都市伏見区竹中町609番地 Kyoto, (JP)</p> <p>(72) 発明者 ; および</p> <p>(75) 発明者 / 出願人 (米国についてのみ)</p> <p>榎 竜嗣(ENOKI, Tatsuji)(JP/JP) 小山信人(KOYAMA, Nobuto)(JP/JP) 猪飼勝重(IKAI, Katsushige)(JP/JP) 加藤郁之進(KATO, Ikunoshin)(JP/JP) 〒520-2193 滋賀県大津市瀬田3丁目4番1号 寶酒造株式会社 中央研究所内 Shiga, (JP)</p>	特願平9/361644	1997年12月11日(11.12.97)	JP	特願平9/364356	1997年12月19日(19.12.97)	JP	特願平9/364813	1997年12月22日(22.12.97)	JP	特願平10/17660	1998年1月14日(14.01.98)	JP	特願平10/73018	1998年3月9日(09.03.98)	JP	<p>(74) 代理人 弁理士 安達光雄, 外(ADATI, Mituo et al.) 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1丁目6番20号 新栄ビル6階 Osaka, (JP)</p> <p>(81) 指定国 CA, CN, JP, KR, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE).</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p>
特願平9/361644	1997年12月11日(11.12.97)	JP														
特願平9/364356	1997年12月19日(19.12.97)	JP														
特願平9/364813	1997年12月22日(22.12.97)	JP														
特願平10/17660	1998年1月14日(14.01.98)	JP														
特願平10/73018	1998年3月9日(09.03.98)	JP														

(54) Title: APOPTOSIS INDUCER

(54) 発明の名称 アポトーシス誘発用物質

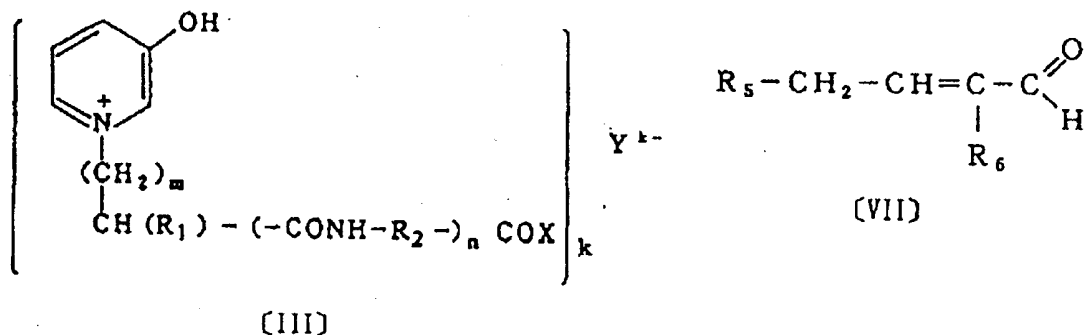
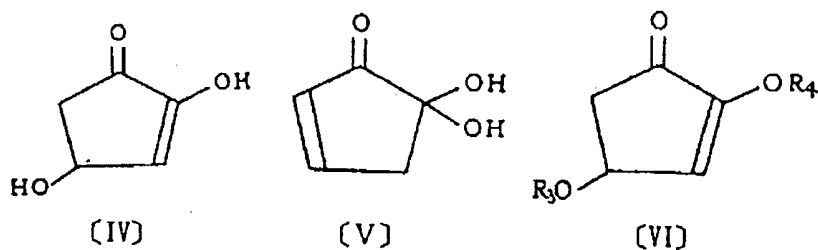
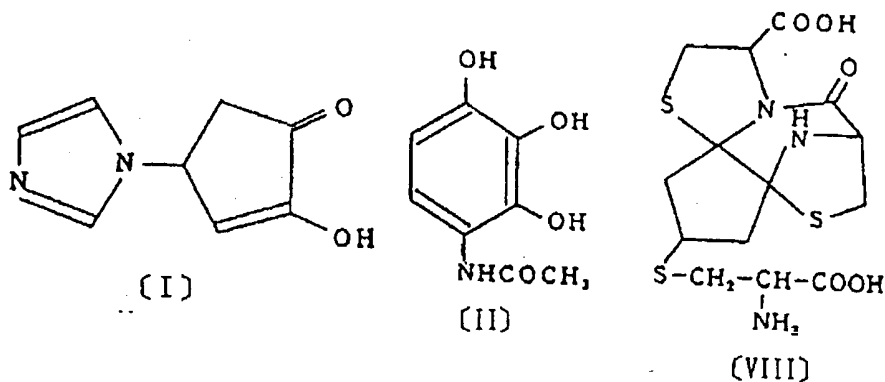
(57) Abstract

Apoptosis inducers represented by chemical formulae (I), (II), (VIII), (IV), (V), (VI), (III) and (VII); and medicinal compositions containing the same and usable as carcinostatic and the like.



(57)要約

下記の化学式で表されるアポトーシス誘発用物質。それを含有する制がん剤などに使用可能な医薬用組成物。

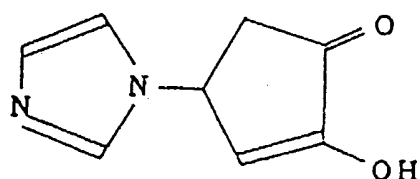


PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

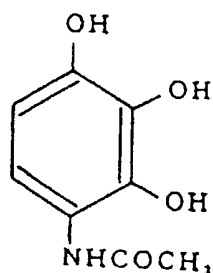
AE アラブ首長国連邦	ES スペイン	LI リヒテンシュタイン	SG シンガポール
AL アルバニア	FI フィンランド	LK スリ・ランカ	SI スロヴェニア
AM アルメニア	FR フランス	LR リベリア	SK スロヴァキア
AT オーストリア	GA ガボン	LS レソト	SL シェラ・レオネ
AU オーストラリア	GB 英国	LT リトアニア	SN セネガル
AZ アゼルバイジャン	GD グレナダ	LU ルクセンブルグ	SZ スワジランド
BA ボスニア・ヘルツェゴビナ	GE グルジア	LV ラトヴィア	TD チャード
BB バルバドス	GH ガーナ	MC モナコ	TC トーゴ
BE ベルギー	GM ガンビア	MD モルドヴァ	TJ タジキスタン
BF ブルキナ・ファソ	GN ギニア	MG マダガスカル	TM トルクメニスタン
BG ブルガリア	GW ギニア・ビサウ	MK マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TR トルコ
BJ ベナン	GR ギリシャ	ML マリ	TT トリニダード・トバゴ
BR ブラジル	HR クロアチア	MN モンゴル	UA ウクライナ
BY ベラルーシ	HU ハンガリー	MR モーリタニア	UG ウガンダ
CA カナダ	ID インドネシア	MW マラウイ	US 米国
CF 中央アフリカ	IE アイルランド	MX メキシコ	UZ ウズベキスタン
CG コンゴ	IL イスラエル	NE ニジェール	VN ヴィエトナム
CH スイス	IN インド	NL オランダ	YU ユーゴスラビア
CI コートジボアール	IS アイスランド	NO ノールウェー	ZA 南アフリカ共和国
CM カメルーン	IT イタリア	NZ ニュー・ジーランド	ZW ジンバブエ
CN 中国	JP 日本	PL ポーランド	
CU キューバ	KE ケニア	PT ポルトガル	
CY キプロス	KG キルギスタン	RO ルーマニア	
CZ チェッコ	KP 北朝鮮	RU ロシア	
DE ドイツ	KR 韓国	SD スーダン	
DK デンマーク	KZ カザフスタン	SE スウェーデン	
EE エストニア	LC セントルシア		

請 求 の 範 囲

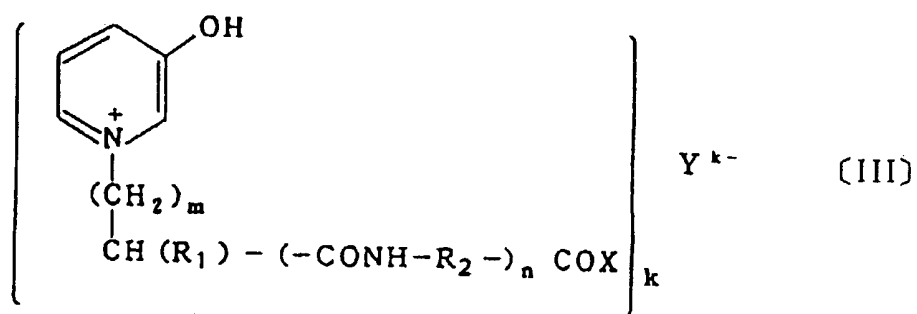
1. 下記式〔I〕、式〔II〕、一般式〔III〕、式〔IV〕、式〔V〕、一般式〔VI〕、一般式〔VII〕又は式〔VIII〕で表されるアポトーシス誘発用物質若しくはその光学活性体、又はそれらの塩。



〔I〕



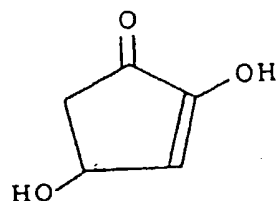
〔II〕



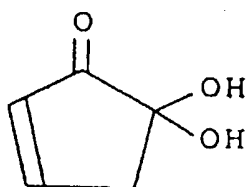
〔III〕

(式〔III〕中、 R_1 はH、アミノ基、若しくは低級アルキル基、又はアミノ酸における置換基を有する低級アルキル基を、 R_2 はアミノ酸におけるペプチド結合に関与するアミノ基とカルボキシル基を除いた2価の残基を、 X は O^- 又はアミノ基を、 Y^{k-} は k 価の陰イオンを、 m は0～4の整数を、 n は0又は正の整数を、 k は正の整数を表す。但し、 n が2以上の場合、2以上存在する R_2 は同一

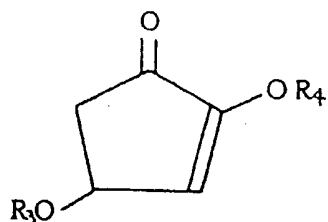
でも異なってもよく、Xが O^- の場合は内部塩となり、 Y^{k-} は存在しない)



〔IV〕

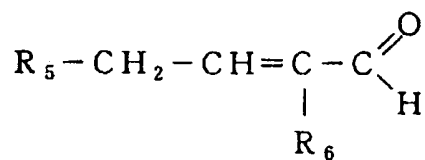


〔V〕



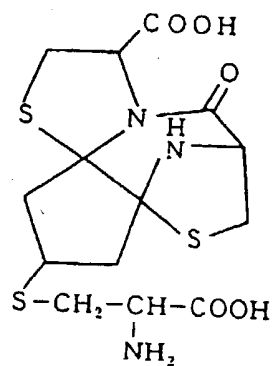
〔VI〕

(式〔VI〕中、 R_3 、 R_4 は同一であっても異なってもよく、炭素数が1～3のアルキル基である。)



〔VII〕

(式〔VII〕中、 R_5 、 R_6 は同一であっても異なってもよく、芳香族アミノ酸の芳香環である。)



[VIII]

2. 請求の範囲1記載のアボトーシス誘発用物質若しくはその光学活性体、又はそれらの塩を含有することを特徴とする医薬用組成物。
3. 医薬用組成物が、制がん剤である請求の範囲2記載の医薬用組成物。